

共用品推進機構だより 2015年11月06日(28)

目次

(126) 共用品推進機構関連記事

▽「ブログを更新しました！」

(127) 賛助会員ニュース

▽「旗艦ショールーム LIXIL、名古屋に」

(128) 各種催しとお知らせ

▽「『日本点字図書館オープンオフィス』開催のお知らせ」

(129) 製品関連記事

▽「園芸セラピーベッド考案 車椅子でも作業OK」

(130) その他、各種関連記事

▽「ボディソープの容器 触覚記号に感謝状／日本盲人会連合」

(131) 新刊紹介

▽『「気になる子」のいるクラスが驚くほどまとまる授業の作り方』

▽『発達が気になる子の心に届く叱り方・ほめ方 小学校編』

▽『発達障害のある人の就労支援』

▽『イラストでわかる ABA 実践マニュアル

発達障害の子のやる気を引き出す行動療法』

▽『障がいのある子の保育・教育のための実践障がい学

**The Practical Disability Studies for Childcare and Education of
Children with Disabilities』**

▽『「困った」から「わかる,できる」に変わる授業づくり
行動問題への積極的な支援』

(126) 共用品推進機構関連記事

▼「ブログを更新しました！」

- ・『アクセシブルデザインの発想』（星川安之）発行！
共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

(127) 賛助会員ニュース

▼「旗艦ショールーム LIXIL、名古屋に」

LIXILは2016年4月、グループ会社の川島織物セルコンと共に名古屋市に旗艦ショールームを開設する。広さは約3200平方メートル。住宅建材、設備機器やカーテンなど布類を展示する。JR名古屋駅近くの立地の良さを生かし、東海全域の消費者の来訪を見込む。

LIXILは現在95カ所でショールームを運営しており、旗艦ショールームは東京、大阪について名古屋が3拠点目となる。同駅近くの大規模再開発エリア「ささしまライブ24」に隣接した場所に開設する。リフォームや新築を検討する顧客との商品選定や相談に加え、イベントスペースで消費者と積極的なコミュニケーションを図る。

(日経産業新聞 10月30日14面より抜粋)

(128) 各種催しとお知らせ

▼「2015年『日本点字図書館オープンオフィス』開催のお知らせ」

本年は、創立者「本間一夫」の生誕百年を迎えました。このオープンオフィスもそれを記念して「本間一夫と日本盲人図書館」という特別展をはじめ、講演会など様々なイベントを開催します。

日時：2015年11月14日（土曜日）10時～16時30分

2015年11月15日（日曜日）10時～16時

※開催当日は、通常業務を停止いたします。

会場：日本点字図書館（本館・別館）

東京都新宿区高田馬場1-23-4

イベント

14日（土曜日）

10時～11時30分

式典

13時30分～14時30分

出久根達郎氏（作家）講演

「指と耳の読書 一本間一夫先生をめぐって」

15時20分～16時

三好明子氏・三好俊行氏（ピアノ連弾）ミニコンサート

「スーパー・ピアノ・デュオ ～クラシックからポップスまで～」

15日（日曜日）

10時30分～11時

ラジオ日本「小鳩の愛～eye～」公開録音

ゲスト 堀内恒夫氏（参議院議員、元読売巨人軍）

10時45分～12時

福島智氏（東京大学先端科学技術研究センター教授）講演

「ぼくの命は言葉とともにある」※手話通訳あり

13時～15時

トークイベント 本間一夫生誕百年記念特別企画

「本間一夫、図書館への思いを探る ～日点の源流に触れる～」

【共催イベント】

本間一夫生誕百年記念特別展「本間一夫と日本盲人図書館」

日時：2015年11月14日（土曜日）10時～16時

2015年11月15日（日曜日）10時～15時

<http://www.nittento.or.jp/news/honma-exhibition.html>

問い合わせ

社会福祉法人 日本点字図書館 総務部総務課

〒169-8586：東京都新宿区高田馬場 1-23-4

電話：03-3209-0241（代表）

E メール：nitten@nittento.or.jp

http://www.nittento.or.jp/news/open_office2015.html

（129）製品関連記事

▼「園芸セラピーベッド考案 車椅子でも作業 OK」

心身の制約を受けている人こそ自然の恩恵を受けるべきだー。茨城県守谷市の毛利ユカさんはそうした理念で園芸セラピーに取り組む。間伐材やれんがなどで囲って土を盛り、高さを調節した「レイズドベッド」を考案し、体の悪い人も園芸作業ができるようにした。県内外の病院や老人施設などで活動、利用者は緑に触れることで心と体をケアする。

考案したレイズドベッドは、車椅子に乗った人や足腰の悪い人もしゃがまずに作業できるのが特徴。既に常総市の「まちの庭」や下妻市の老人ホームで活用され、部屋に引きこもりがちだったお年寄りが野菜作りに熱中するようになり、緑と土に触れることで心身のケアにつながっている。

（日本農業新聞 11月5日13面より抜粋）

（130）その他、各種関連記事

▼「ボディーソープの容器 触覚記号に感謝状／日本盲人会連合」

昨年5月のJIS（日本工業規格）改正でボディーソープの容器に直線状の触覚記号をつけることが推奨され、それを採用した商品が店頭に並ぶようになったのを受けて、日本盲人会連合は先月7日、日本化粧品工業連合会に感謝状を贈った。同連合会は改正案づくりに会員企業との調整を行うなど協力し、改正後は普及にも力を入れている。

シャンプーと同じようにボディーソープの識別が触覚記号で容易になったことについて日盲連では、障害者の自立を支援する重要な取り組みであり、権利の主体として生活するための重要な支援策との認識を示した。

(点字毎日活字版 11月5日9面より抜粋)

(131) 新刊紹介

▼ 『「気になる子」のいるクラスが驚くほどまとまる授業の作り方』

授業中に、大声で騒ぎたてたり、ふらふらと立ち歩いたり…。そんな「気になる子」も周りの子どもといっしょに伸びる学級をつくるには？「気になる子」への指導と学級づくりに悩む先生に役立つ具体的方法を紹介します。

著：加藤辰雄（かとう・たつお）

発行：学陽書房

本体価格：1700円（税別）

ISBN：978-4-313-65294-1

▼ 『発達が気になる子の心に届く叱り方・ほめ方 小学校編』

小学校の先生に向けて、発達が気になる子どもたちが抱える学習困難や発達の課題、関係性トラブルに対する具体的な指導、声かけ、支援の方法などを、すぐに実践できるアイデアとともに紹介する。

編著：上野一彦（うえの・かずひこ）

著：小林玄（こばやし・しずか）

発行：学陽書房

本体価格：1900円（税別）

ISBN：978-4-313-65267-5

▼ 『発達障害のある人の就労支援』

発達障害のある人の継続的な就労を実現するために必要な考え方や支援とは。職業リハビリテーションや教育現場、民間企業の立場から就労支援を考えるほか、大学や障害福祉サービスにおける就労支援などを紹介する。

編著：梅永雄二（うめなが・ゆうじ）

著：梅永雄二（うめなが・ゆうじ）ほか

発行：金子書房

本体価格 1300円（税別）

ISBN : 978-4-7608-9544-1

▼ 『イラストでわかる ABA 実践マニュアル
発達障害の子のやる気を引き出す行動療法』

発達障害の子どものやる気を引き出し、よい行動を増やす ABA（応用行動分析）を、イラストを用いてわかりやすく解説。ABA の基礎から初級・中級・上級プログラムまで盛り込んだ、ABA セラピーのはじめの一冊。

著：藤坂龍司（ふじさか・りゅうじ）松井絵理子（まつい・えりこ）

発行：合同出版

本体価格 2400 円（税別）

ISBN : 978-4-7726-1235-7

▼ 『障がいのある子の保育・教育のための実践障がい学
The Practical Disability Studies for Childcare and Education of
Children with Disabilities』

障がいのある子どもがどんな世界を生きているのか、どんな支援ができるのか。心理学・現象学・自己組織化理論・脳科学など様々な領域の知見を取り入れながら、障がいのある子の保育や教育の実践を支える「考え方」を整理する。

著：佐藤暁（さとう・さとる）

発行：ミネルヴァ書房

本体価格 2400 円（税別）

ISBN : 978-4-623-07465-5

▼ 『「困った」から「わかる,できる」に変わる授業づくり
行動問題への積極的な支援』

知的障害特別支援学校や特別支援学級に在籍している子どもの行動問題をコミュニケーション手段として育て、子どもが「わかる、できる」ことを保障する授業づくりを提案。基礎的な理論と、それに基づく実践事例を紹介します。

編著：村中智彦（むらなか・ともひこ）

発行：明治図書出版

本体価格：2200 円（税別）

ISBN : 978-4-18-192614-4

(編集後記)

先月 10 月 8 日、9 日に共用品推進機構で、ISO (国際標準化機構) /TC 173 (福祉用具専門員会) /SC 7 (アクセシブルデザイン分科会) /WG 5 (触知案内図作業グループ) の第 3 回会議を開催しました。会議にはドイツ、スウェーデン、中国、日本の専門家に加え、日本からのオブザーバーも参加し、合計 10 名での討議となりました。DIS (国際規格案) 投票の際に各国から提出されたコメント (規格案に対する意見) を中心に討議を行い、規格案を修正しました。この修正規格案をもとに、FDIS (最終国際規格案) 投票を省略して、直接国際規格発行に進むための CIB (委員会内) 投票を来週 11 月 9 日に開始する予定です。この投票は 12 月 9 日に終了し、承認されれば国際規格発行に進むこととなります。(松岡 光一)

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>